

TV SPEAKER


安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

UK CA この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
10.  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、**Bose** カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。


警告/注意



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。

▲ WARNING	
<ul style="list-style-type: none"> • INGESTION HAZARD: This product contains a button cell or coin battery. • DEATH or serious injury can occur if ingested. • A swallowed button cell or coin battery can cause Internal Chemical Burns in as little as 2 hours. • KEEP new and used batteries OUT OF REACH of CHILDREN • Seek immediate medical attention if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body. 	

- ・電池を飲み込まないでください。化学薬品によるやけどを負う恐れがあります。
- ・この製品に付属のリモコンにはボタン電池が使用されています。ボタン電池を飲み込むと、体内で2時間以内に深刻な化学薬品によるやけどを負って生命を脅かす恐れがあります。
- ・電池はお子様の手の届かないところに保管してください。
- ・使用済みの電池であっても、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。
- ・電池ケースは必ずきちんと閉めてください。電池ケースがきちんと閉まらない場合は、製品の使用をやめて電池を取り出し、お子様の手の届かないところに保管してください。
- ・電池が極性(+-)に従って正しく入れられていることを確認してください。
- ・古い電池と新しい電池を混ぜたり、アルカリ電池、炭素亜鉛電池、充電式電池など、異なるブランドや種類の電池を一緒に使用したりしないでください。
- ・電池を飲み込んだ場合や、身体の中に入ってしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
- ・治療法については、最寄りの毒物管理センターにお問い合わせください。
- ・破裂や発火、やけどなどの危険がないように、電池の交換は慎重に行い、使用が認められている電池のみを使用してください。
- ・使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。また、お子様の手の届かないところに置いてください。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。
- ・長期間使用しない機器からは電池を取り外し、直ちにリサイクルするか、地域の規制に従って廃棄してください。
- ・電池の強制放電や、再充電、分解、85°C以上の加熱、焼却はしないでください。ガス漏れ、液漏れ、爆発により、怪我をしたり化学やけどを負ったりする恐れがあります。
- ・非充電式電池は充電しないでください。
- ・電池/バッテリータイプ: **CR2032** | 公称バッテリー電圧: **3V**



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- ・ 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- ・ 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- ・ 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・ 許可なく製品を改造しないでください。
- ・ インバータ電源は使用しないでください。
- ・ この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工者にご相談ください。
- ・ 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- ・ 本製品に付属の電池/バッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプの電池/バッテリーと交換したりすると、火災や爆発、化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- ・ 本製品を壁掛け設置するには、次の金具のみを使用してください: **Bose Soundbar Wall Bracket**。
- ・ 壁面の強度が十分でない場合や、壁の裏側に電線や配管などがある場合は、ブラケットを使用しないでください。ブラケットの取り付け方法がわからない場合は、専門業者に作業を依頼してください。壁掛けブラケットを取り付ける際は、建築関連法規に従ってください。
- ・ 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ・ 製品ラベルはスピーカーの背面にあります。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・受信アンテナの向きや位置を変える。
- ・本機と受信機の距離を離す。
- ・受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- ・販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ向け:

運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz

最大送信出力20 dBm EIRP未滿

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。



この記号は、製品が家庭ゴミとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスの管理規制

第12条

「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。




廃電池回収

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

製品の電力状態

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、以下の規範または文書に準拠しています。Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	< 0.5W	Bluetooth® < 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	< 2.5時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	N/A	< 2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Bluetooth: 無効化するには、Bluetooth ボタンを10秒間長押しして、ペアリングリストを消去します。有効化するには、Bluetooth ソース機器とペアリングします。	

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
パーツ名	有毒/有害物質および成分					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。						
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。						
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

機器名: Powered Speaker、型式: 431974						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチックパーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○

注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。
注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「1」は2011年または2021年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands | Bose de México S. de R.L. de C.V., Avenida Prado Sur #150, Piso 2, Interior 222 y 223, Colonia Lomas de Chapultepec V Sección, Miguel Hidalgo, Ciudad de México, C.P. 11000 電話番号: +5255 (5202) 3545 | Bose Limited (H.K.), 9F, No. 10, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist. Taipei City 10480, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

入力定格: 100 ~ 240 V ~ 50/60 HZ、36W

モデル番号: 431974

CMII IDはスピーカー背面の製品ラベルに記載されています。

カリフォルニア州: 過塩素酸塩素材を含むリチウムイオン電池が含まれています。特別な取り扱いが適用される場合があります。

www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorateを参照してください。

製品情報の控え

シリアル番号とモデル番号は、スピーカーの背面に記載されています。

シリアル番号: _____

モデル番号: _____


この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。


セキュリティ情報



この製品にはソフトウェアが含まれています。Boseは、製品の機能に影響を与える可能性のあるセキュリティの問題に対処するためなどの目的で、随時更新を提供する場合があります。お客様には、お持ちの製品に更新を適用していただく責任があります。更新を入手するには、Boseカスタマーサービスへのご連絡が必要となる場合があります。次のサイトをご参照ください。
worldwide.bose.com/contact

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

 Dolby, Dolby Audio、およびダブルDマークはDolby Laboratories Licensing Corporationの商標です。この製品はDolby Laboratoriesのライセンスに基づいて製造されています。Confidential unpublished works. Copyright 1992–2019 Dolby Laboratories. All rights reserved.

 HDMIおよびHDMI High-Definition Multimedia Interfaceの用語、HDMIのトレードドレス、およびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の米国および他の国々における商標または登録商標です。

 Roku TV、Roku TV Ready、およびRoku TV Readyのロゴは、Roku, Inc.の商標です。

Bose、Bose Bass Module、Bose Home Speaker、Bose Portable Home Speaker、Bose Soundbar、Bose Soundbar Wall Bracket、Bose TV Speaker、およびSimpleSyncは、Bose Corporationの商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2024 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

FreeRTOS Kernel V10.0.1

Copyright © 2017 Amazon.com, Inc. or its affiliates. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” , WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<http://www.FreeRTOS.org>

<http://aws.amazon.com/freertos>

Heatshrink-0.4.1

Copyright (c) 2011-2015 Scott Vokes <vokes.s@gmail.com>

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

内容物の確認

内容物.....	13
----------	----

スピーカーの設置

推奨事項.....	14
スピーカーを壁に取り付ける.....	15
壁に取り付けた状態で音響特性を調整する.....	15

スピーカーのセットアップ

ケーブルを選択する.....	16
スピーカーをテレビに接続する.....	17
オプション1: 光デジタル接続.....	17
オプション2: HDMI™ ARC接続(ケーブル別売).....	18
スピーカーを電源に接続する.....	19
テレビの内蔵スピーカーをオフにする.....	20
音が出ることを確認する.....	20

スピーカーの操作

リモコンの機能.....	21
電源.....	22
自動ウェイク機能.....	23
音量.....	24
ソース機器.....	25
ダイアログモード.....	26
低音を調整する.....	27
低音設定を元に戻す.....	28
他社製リモコンをプログラムする.....	29
スピーカーをプログラムモードにする.....	29
テレビのリモコンをプログラムする.....	30

BLUETOOTH® 接続

モバイル機器を接続する	31
モバイル機器の接続を解除する	32
モバイル機器を再接続する	32
別のモバイル機器を接続する	33
スピーカーのデバイスリストを消去する	33

スピーカーの状態

<i>Bluetooth</i> 接続の状態	34
メディアの再生と音量の状態	35
エラーの状態	36

高度な機能

アクセサリ機器を接続する(オプション)	37
---------------------------	----

別のセットアップ方法

Roku TV Ready™	38
テレビに光ケーブルまたはHDMI端子がない	39
テレビにアナログ音声端子しかない	39
テレビにヘッドホン出力端子しかない	40

BOSE 製品への接続

Bose Home Speaker または Soundbar に接続する	41
対応製品	41
Bose アプリを使用して接続する	41
Bose Home Speaker または Soundbar に再接続する	42

補足事項

リモコンの電池を交換する	43
お手入れについて	44
交換部品とアクセサリ	44
保証	44

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと	45
その他の対処方法	45

内容物

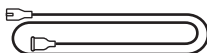
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



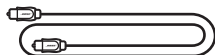
Bose TV Speaker



Bose TV Speaker リモコン
(電池付属)



電源コード*



光ケーブル

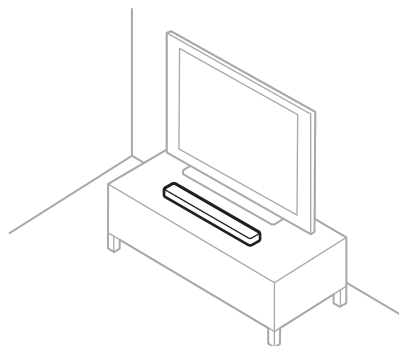
*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

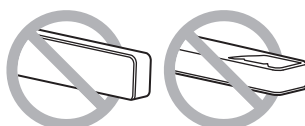
次のサイトをご参照ください。worldwide.Bose.com/Support/TVS

推奨事項

- スピーカーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。キャビネットの中には置かないでください。
- スピーカーは、グリルを部屋の中央に向けた状態で、テレビの真下(推奨)または真上に配置します。
- スピーカーは、ゴム足を下にして安定した水平な面に設置してください。正しく設置するには、両側の足が台の上にとしっかりと載っている必要があります。特に大理石やガラス、磨き上げた木などの滑りやすい表面では、音の振動でスピーカーの位置がずれることがあります。
- スピーカーを本棚やテレビ台などに置く場合は、最適な音質を得るために、できるだけ棚や台の前面に近づけてください。
- スピーカーの背面を壁や家具などから1 cm以上離してください。背面にある開口部が塞がれると、音質が低下する恐れがあります。
- 電源コンセントが近くにある場所に設置してください。
- 無線の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から30～90 cmほど離れた場所に設置してください。
- 最高の音質をお楽しみいただくため、スピーカーを戸棚の中に設置したり、お部屋の角に斜めに設置したりしないでください。
- スピーカーの上には物を置かないでください。



注意: スピーカーの前面や背面、または天面を下にした状態で使用しないでください。




スピーカーを壁に取り付ける

スピーカーは壁に取り付けることができます。Bose Soundbar Wall Bracketは、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

次のサイトをご参照ください。worldwide.Bose.com/Support/TVS

注意: 純正以外のアクセサリーを使用してスピーカーを設置しないでください。

壁に取り付けた状態で音響特性を調整する

スピーカーのTVインジケーターがオレンジに点滅するまで、リモコンのダイアログモードボタンを5秒間長押しします。



注: スピーカーを壁から取り外す場合は、手順を繰り返してオーディオを再調整します。

ケーブルを選択する

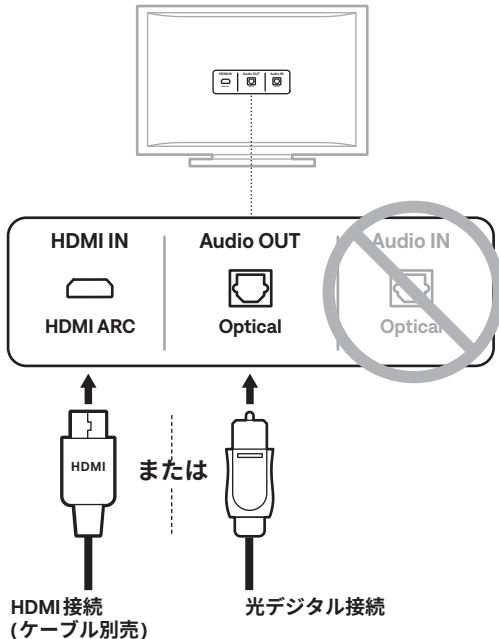
2種類のケーブルからどちらかを選択して、テレビとスピーカーを接続します。

- ・ **オプション1:** 光デジタル接続
- ・ **オプション2:** HDMI ARC接続(ケーブル別売)

注:

- ・ テレビのHDMI ARCまたはAudio Return Channel端子を使用すると、テレビのリモコンを使用して、スピーカーの電源、音量、ミュート機能を操作できます。
 - ・ テレビに光ケーブル端子またはHDMI端子がない場合は、「別のセットアップ方法」(38ページ)をご覧ください。
 - ・ ケーブルの選択を変更する場合は、新しいケーブルを接続する前にスピーカーの電源をオフにしてください(22ページを参照)。
 - ・ スピーカーはRoku TV Ready™です。Roku TV™でスピーカーをセットアップする方法については、38ページをご覧ください。
1. テレビの背面にある**Audio OUT** (光デジタル)端子または**HDMI ARC IN**端子パネルを探します。

注: お使いのテレビによっては、端子パネルが図と異なる場合があります。端子の形状で確認してください。

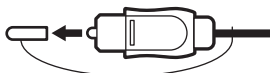


2. 音声ケーブルを選択します。

スピーカーをテレビに接続する

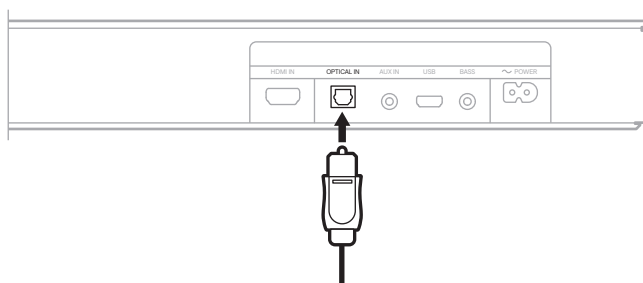
オプション1: 光デジタル接続

1. 光ケーブル両端のプラグから保護キャップを取り外します。



注意: 光ケーブル両端のプラグから保護キャップが取り外されていることを確認します。プラグにキャップを付けたまま、または間違った向きで差し込むと、プラグや端子が破損する恐れがあります。

2. 一方のプラグをテレビの **Optical OUT** 端子の向きに合わせて、慎重に差し込みます。
3. Bose ロゴのある側を下にして光ケーブルの反対側のプラグを持ちます。
4. プラグの向きをスピーカーの **OPTICAL IN** 端子に合わせて、慎重に差し込みます。



注: 端子にはカバーが付いていて、プラグを差し込むとカバーが開きます。

5. カチッと音が聞こえるか、指先に感触があるまでプラグをしっかりと差し込みます。

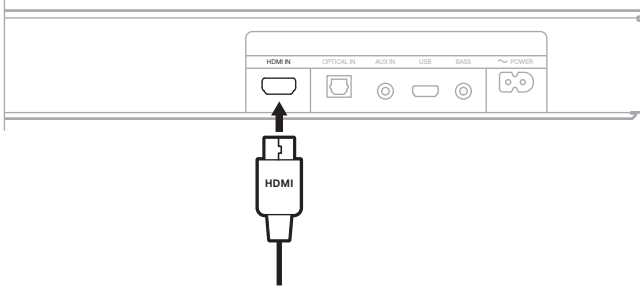


オプション2: HDMI ARC接続(ケーブル別売)

1. HDMIケーブルをテレビの**HDMI ARC**端子に接続します。

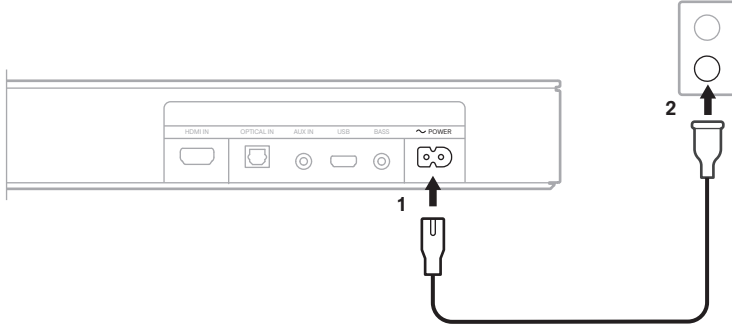
注: HDMI ARC端子またはAudio Return Channel端子に接続しないと、スピーカーからテレビの音声は再生されません。テレビにHDMI ARC端子がない場合は、付属の光デジタルケーブルを使用してスピーカーに接続します(17ページを参照)。

2. ケーブルの反対側を、スピーカーの**HDMI IN**端子に差し込みます。



スピーカーを電源に接続する

1. 電源コードをスピーカー背面の **〜POWER** 端子に接続します。
2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。



スピーカーの電源がオンになり、ビープ音が聞こえます。

テレビの内蔵スピーカーをオフにする

音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。

詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。


ヒント: 通常、オーディオ設定はテレビの設定メニューにあります。

音が出ることを確認する

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/BS/CS用チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
 - a. ソース機器の電源をオンにします。
 - b. テレビの入力を正しく選択します。

3. スピーカーの電源をオンにします(22ページを参照)。

テレビの音がスピーカーから聞こえます。

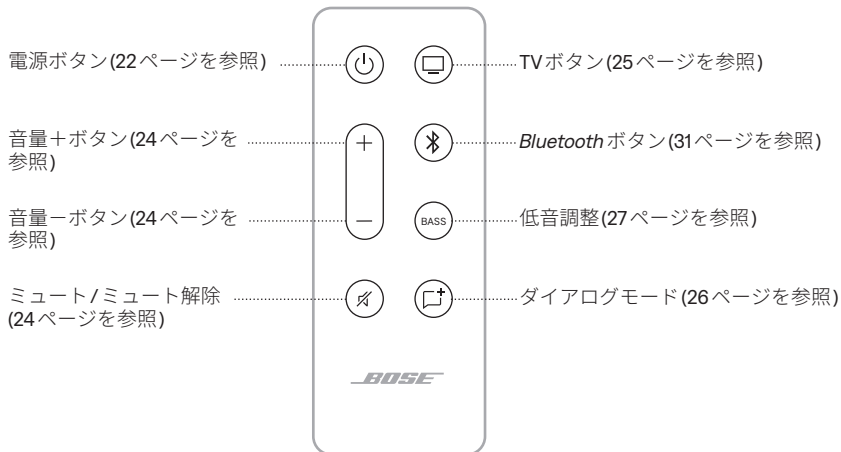
4. スピーカーのリモコンの  ボタンを押します。

テレビの内蔵スピーカーやスピーカーから音が聞こえなくなります。


注: スピーカーをミュートしてもテレビの内蔵スピーカーから音が聞こえる場合は、45ページをご覧ください。

リモコンの機能

リモコンを使用して、スピーカーと *Bluetooth* 接続機器の操作を行います。




電源

スピーカーの電源をオンまたはオフにするには、リモコンの電源ボタン  を押します。



スピーカーの電源をオンにすると、最後に使用したソースになります。

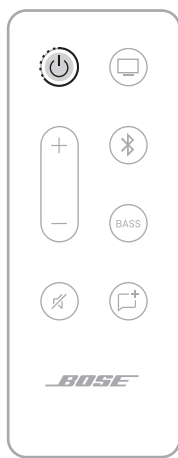
注:

- スピーカーを電源コンセントに接続すると、スピーカーの電源が自動的にオンになります。
- 初めてスピーカーの電源をオンにしたとき、スピーカーのソースはTV  になります。
- スピーカーをHDMIケーブルでテレビに接続すると、テレビの電源をオンにするたびにスピーカーのソースがテレビに切り替わります。

自動ウェイク機能

光ケーブルまたはアナログケーブルで音声信号を受信したらスピーカーの電源がオンになるように設定できます。

自動ウェイクモードと通常の電源モードを切り替えるには、リモコンの電源ボタン^①を、ピープ音が聞こえ、スピーカーのTVインジケータと *Bluetooth* インジケータがオレンジに3回点滅するまで長押しします。





音量



機能	操作方法
音量を上げる	<p>+ ボタンを押します。</p> <p>注: 音量をすばやく上げるには、+ ボタンを長押しします。</p>
音量を下げる	<p>- ボタンを押します。</p> <p>注: 音量をすばやく下げるには、- ボタンを長押しします。</p>
ミュート/ ミュート解除	<p>🔇 ボタンを押します。</p> <p>音声をミュートすると、元に戻すまでの間、スピーカーの現在のソースを示すインジケータ (TV または <i>Bluetooth</i>) が白に点滅します (35 ページを参照)。</p> <p>ヒント: + ボタンを押して、ミュート解除することもできます。</p>

ソース機器


リモコンを使用して、テレビと *Bluetooth* 接続機器の操作を行うことができます。

ソース機器を操作するには、リモコンで、操作したいソース機器のボタン(TVボタンまたは*Bluetooth*ボタン)を押します。




ダイアログモード

ダイアログモードは、映画やテレビ番組、ポッドキャストなどの台詞やボーカルが明瞭になるように、システムのオーディオバランスを調整する機能です。

リモコンのダイアログモードボタン  を押すたびに、ダイアログモードと通常モードのオーディオ設定が切り替わります。



ダイアログモードをオンにすると、現在のソースを示すインジケーターが緑に点灯します(34ページを参照)。

注: ダイアログモードをオンにすると、別のソースに切り替えたり、スピーカーをオフにしたりしても、現在のソースに対してダイアログモードが有効のままになります。ソースのダイアログモードをオフにするには、ダイアログモードボタン  をもう一度押します。

低音を調整する

1. リモコンの **BASS** ボタンを押します。



スピーカーのTVインジケーターと *Bluetooth* インジケーターが白に3回点滅します。

2. 次のいずれかを実行して低音を調整します。
 - ・ 音量+ボタン+を押すと、低音の音量が上がります。
 - ・ 音量-ボタン-を押すと、低音の音量が下がります。

現在の低音設定に応じて、スピーカーのTVインジケーターと *Bluetooth* インジケーターが点灯します。

低音設定	TV	Bluetooth
2 (最大)	■	□
1	■	□
0 (デフォルト)	◀ □ ▶	◀ □ ▶
-1	□	■
-2 (最小)	□	■

3. **BASS** ボタンを押します。

現在の低音設定がスピーカーに保存されます。

注: ニュースやトークショーなどの対話やトークのみの番組を最適な音質で楽しむ方法については、「ダイアログモード」(26ページ)をご覧ください。

低音設定を元に戻す

スピーカーのTVインジケータと *Bluetooth* インジケータが3回点滅するまで、リモコンの **BASS** ボタンを長押しします。



低音設定が工場出荷時の状態に戻ります。

他社製リモコンをプログラムする

CATV/BS/CS用チューナーのリモコンなど、他社製リモコンをプログラムして、スピーカーの音量を調節することができます。

スピーカーをプログラムモードにする

スピーカーのTVインジケータとBluetoothインジケータが3回点滅してから白く点灯するまで、スピーカーのリモコンのTVボタンを長押しします。



テレビのリモコンをプログラムする

1. スピーカーのリモコンの音量+ボタン+を押します。



スピーカーのTVインジケータとBluetoothインジケータが点灯します。

2. テレビのリモコンの音量+ボタンを2秒間長押しします。

ピープ音が聞こえ、TVインジケータが2回オレンジ色に点滅してから白く点灯します。

注: 失敗した場合は、ピープ音が聞こえ、TVインジケータが2回赤く点滅してから白く点灯します。手順1～2を繰り返します。

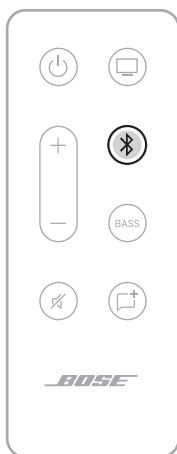
3. 音量-ボタン-を使用して、手順1～2を繰り返します。
4. ミュートボタン⌵を使用して、手順1～2を繰り返します。

注: すべての他社製リモコンがスピーカーに対応しているわけではありません。他社製リモコンでスピーカーを操作するには、リモコンがIR (赤外線) 信号を送信できる必要があります。

Bluetoothワイヤステクノロジーにより、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの音楽をワイヤレス再生することができます。モバイル機器から音楽をストリーミング再生するには、モバイル機器とスピーカーを接続する必要があります。

モバイル機器を接続する

1. リモコンのBluetoothボタン※を押します。



スピーカーのBluetoothインジケータが青にゆっくり点滅します。

2. モバイル機器のBluetooth機能をオンにします。

ヒント: 通常、Bluetoothメニューは設定メニューにあります。

3. デバイスリストから本製品を選択します。



接続すると、ピープ音が聞こえます。*Bluetooth* インジケーターが白く点灯します。モバイル機器のデバイスリストに「Bose TV Speaker」が表示されます。

モバイル機器の接続を解除する

モバイル機器の *Bluetooth* メニューを使用して、スピーカーの接続を解除します。

ヒント: モバイル機器の *Bluetooth* 機能を無効にして接続を解除することもできます。*Bluetooth* 機能を無効にすると、他の機器との接続もすべて解除されます。

モバイル機器を再接続する

リモコンの *Bluetooth* ボタン※を押します。

スピーカーは、最後に接続していた機器に自動的に再接続します。接続中は、スピーカーの *Bluetooth* インジケーターが白に点滅します。

注:

- モバイル機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- 機器とスピーカーの間の距離が9 m以内で、電源と *Bluetooth* 機能がオンになっている必要があります。

別のモバイル機器を接続する

スピーカーのデバイスリストには、機器を最大8台まで登録でき、同時に2台まで接続できます。

注: ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。

1. リモコンの *Bluetooth* ボタンを押します。



2. モバイル機器で、デバイスリストから「Bose TV Speaker」を選択します。

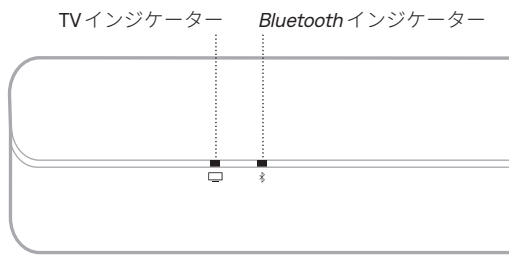
注: モバイル機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。

スピーカーのデバイスリストを消去する

1. ビープ音が聞こえるまで、リモコンの ✱ ボタンを10秒間長押しします。
2. 機器の *Bluetooth* リストから「Bose TV Speaker」を削除します。

すべての機器が消去され、スピーカーが新しい機器と接続可能な状態になります(31ページを参照)。









スピーカーの前面にあるLEDインジケータには、スピーカーの状態が表示されます。



注: インジケータには、現在のソースで最優先される状態が表示されます。

BLUETOOTH接続の状態

モバイル機器のBluetooth接続の状態を示します。

インジケータの状態			システムの状態
Bluetoothインジケータが青にゆっくり点滅			接続準備完了
Bluetoothインジケータが白に点滅			接続中
Bluetoothインジケータが白に点灯			接続済み





メディアの再生と音量の状態

メディアの再生と音量を操作しているときのスピーカーの状態を示します。

インジケータの状態			システムの状態
TVインジケータが白に点灯			テレビの電源オン
Bluetoothインジケータが白に点灯			Bluetooth機器に接続しました
TVインジケータが緑に点灯			テレビのダイアログモードが有効
Bluetoothインジケータが緑に点灯			Bluetooth接続機器のダイアログモードが有効
TVインジケータが白に点滅			テレビの音量を調節中
Bluetoothインジケータが白に点滅			Bluetooth接続機器の音量を調節中
TVインジケータが緑に点滅			ダイアログモードでテレビの音量を調節中
Bluetoothインジケータが緑に点滅			ダイアログモードでBluetooth接続機器の音量を調節中
TVインジケータが白にゆっくり点滅			テレビのミュートが有効
Bluetoothインジケータが白にゆっくり点滅			Bluetooth接続機器のミュートが有効
TVインジケータが緑にゆっくり点滅			ダイアログモードでテレビをミュート
Bluetoothインジケータが緑にゆっくり点滅			ダイアログモードでBluetooth接続機器をミュート

エラーの状態

エラーの警告の状態を示します。

インジケータの状態			システムの状態
TVインジケータが赤に点滅			スピーカーエラー - 電源を抜いてから再度接続してください。引き続きエラーが発生する場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

アクセサリ機器を接続する(オプション)

これらのアクセサリ機器は、3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用してスピーカーに接続できます。詳細については、アクセサリ機器の取扱説明書をご覧ください。

Bose Bass Module 500: worldwide.Bose.com/Support/BASS500

Bose Bass Module 700: worldwide.Bose.com/Support/BASS700

注: ベースモジュールはスピーカー背面の **BASS** 端子に接続します。**AUX IN** 端子には接続しないでください。

ROKU TV READY™

Bose TV SpeakerはRoku TV Ready認証を取得しています。Bose TV SpeakerをHDMIケーブル(別売)でRoku TVに接続し、画面に表示されるセットアップ手順に従います。完了したら、Roku TVのリモコンでスピーカーを操作し、画面上のRoku TV設定メニューを使用してスピーカーの設定にアクセスします。

注:

- Bose TV Speakerは、Roku TV Readyに対応するためにソフトウェアのアップデートが必要となる場合があります。詳細については、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.bose.com/Support/TVS

- 一部の地域では、Roku TV Readyに対応していない場合があります。詳しくは、次のサイトをご覧ください: go.roku.com/rokuTVready

テレビに光ケーブルまたはHDMI端子がない

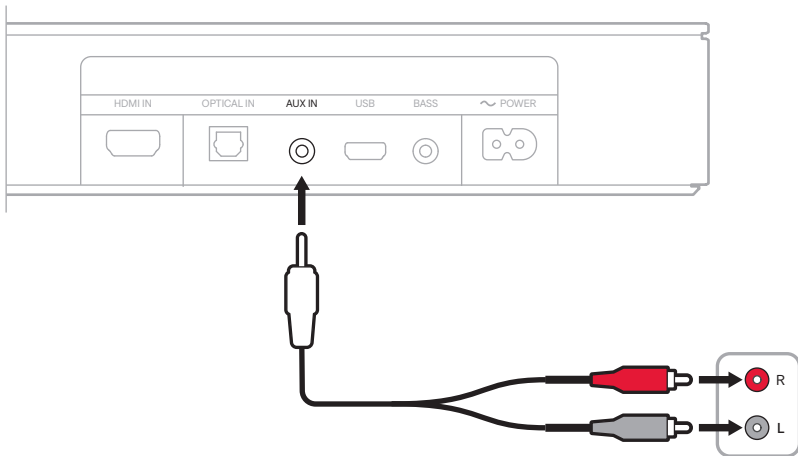
一部のテレビには、光ケーブルまたはHDMI端子がない場合があります。このような場合は、別のセットアップ方法を使用して、テレビにスピーカーを接続してください。

問題	対処方法
テレビにアナログ音声端子しかない	3.5 mm ステレオ - RCA ステレオ変換ケーブル(別売)を使用して、テレビを接続します。「テレビにアナログ音声端子しかない」をご覧ください。
テレビにヘッドホン出力端子しかない	3.5 mm ステレオ音声ケーブル(別売)を使用して、テレビを接続します。「テレビにヘッドホン出力端子しかない」(40ページ)をご覧ください。

テレビにアナログ音声端子しかない

テレビにアナログ音声端子(赤と白)しかない場合は、3.5 mm ステレオ - RCA ステレオ変換ケーブル(別売)を使用してスピーカーを接続します。

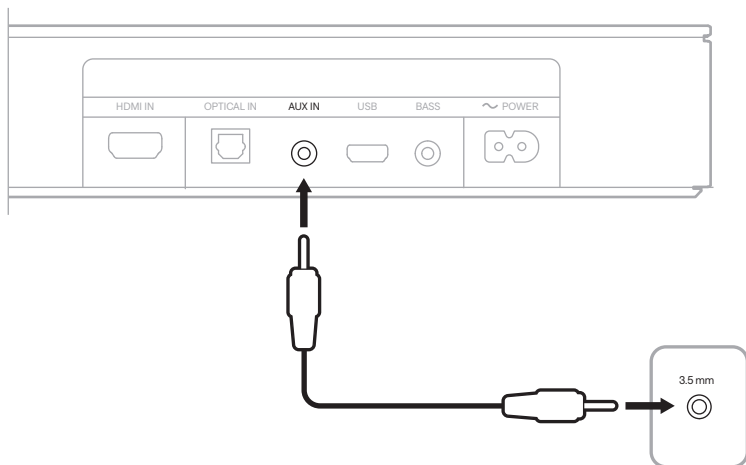
1. スピーカーとテレビの接続をまだ外していない場合は、ここで接続を外します。
2. RCA アナログケーブルをテレビの音声出力RCA端子(赤と白)に接続します。
3. ステレオプラグをスピーカーの **AUX IN** 端子に接続します。



テレビにヘッドホン出力端子しかない

テレビにヘッドホン出力端子しかない場合は、3.5 mmステレオ音声ケーブル(別売)を使用してスピーカーに接続します。

1. 3.5 mmステレオ音声ケーブルのプラグをテレビのヘッドホン出力端子に接続します。
2. ケーブルの反対側を、スピーカーの **AUX IN** 端子に差し込みます。



3. テレビの内蔵スピーカーをオンにしてください。
詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
4. スピーカーの音量を最適な状態にするには、次の手順に従います。
 - a. テレビの音量を75パーセント程度に調節します。
 - b. スピーカーのリモコンを使用して、スピーカーの音量を調節します。

BOSE HOME SPEAKER または SOUNDBAR に接続する

Bose SimpleSync™テクノロジーにより、Bose TV Speaker と Bose Home Speaker または Bose Soundbar を接続して、同じ曲を2つの部屋で同時に聴くことができます。

注: SimpleSync™テクノロジーは、9 mのBluetooth通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

Bose TV Speaker と Bose Home Speaker ファミリーのすべての製品を接続することができます。

対応製品の例:

- Bose Smart Soundbar 700
- Bose Soundbar 500
- Bose Home Speaker 500
- Bose Home Speaker 300
- Bose Portable Home Speaker

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。 worldwide.bose.com/Support/Groups

Bose アプリを使用して接続する

1. Bose TV Speaker の Bluetooth インジケーターが青く点滅するまで、Bose TV Speaker のリモコンの Bluetooth ボタン ✱ を長押しします。
2. Bose アプリを使用して、スピーカーを対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: worldwide.bose.com/Support/Groups

注:

- Bose TV Speaker が Bose Home Speaker または Bose Soundbar から 9 m 以内にあることを確認してください。
- Bose TV Speaker と一度に接続できる製品は1台だけです。

BOSE HOME SPEAKER または SOUNDBAR に再接続する

Bose アプリを使用して、以前に接続していた Bose 製品にスピーカーを再接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.bose.com/Groups

注:

- Bose Home Speaker や Bose Soundbar が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- Bose TV Speaker を接続できない場合は、「以前にペアリングされていた Bose Home Speaker や Bose Soundbar と再接続できない」(48 ページ)をご覧ください。

リモコンの電池を交換する

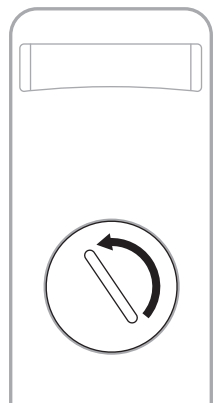
▲ WARNING

- **INGESTION HAZARD:** This product contains a button cell or coin battery.
- **DEATH** or serious injury can occur if ingested.
- A swallowed button cell or coin battery can cause **Internal Chemical Burns** in as little as **2 hours**.
- **KEEP** new and used batteries **OUT OF REACH of CHILDREN**
- **Seek immediate medical attention** if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.

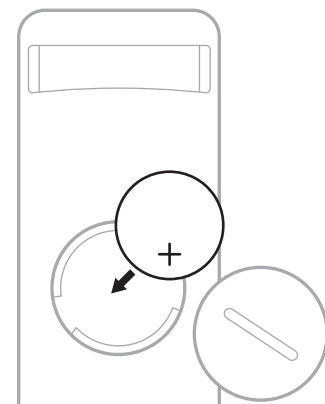


注: 詳しくは、「警告/注意」(3ページ)をご覧ください。

1. 硬貨などを使用して、電池カバーを左(反時計回り)に回し、カバーを取り外します。



2. +極の表示がある平らな面を上に向けて、新しい電池を装着します。



注: 法令 (UL など) に準拠した3Vリチウムボタン電池(CR2032またはDL2032)を使用してください。

3. カバーを元に戻し、右(時計回り)に回してロックします。

お手入れについて

スピーカーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

注意:

- スピーカーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。
- スピーカーに空気を吹き付けしないでください。
- スピーカーに掃除機をかけないでください。
- スピーカーの近くでスプレーを使用しないでください。
- 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 開口部に異物が入り込まないようにしてください。

交換部品とアクセサリ

交換部品とアクセサリは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください。[worldwide.bose.com/Support/TVS](https://www.worldwide.bose.com/Support/TVS)

保証

製品保証の詳細は[global.bose.com/warranty](https://www.global.bose.com/warranty)をご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト([worldwide.bose.com/ProductRegistration](https://www.worldwide.bose.com/ProductRegistration))から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

最初にお試しいただくこと

スピーカーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- スピーカーが接続されているコンセントに電源が供給されていることを確認します。
- すべてのケーブルが適切な端子にしっかりと接続されていることを確認します。
- ステータスインジケータを確認します(34ページを参照)。
- スピーカーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から30～90 cm以上離します。
- 設置ガイドに沿ってスピーカーを設置します(14ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。


次のサイトをご参照ください。worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
テレビにHDMI ARC端子や光デジタル音声端子がない	別のセットアップ方法を使用して、テレビにスピーカーを接続してください(39ページを参照)。
スピーカーの電源が入らない	電源ケーブルを別のコンセントに差し込みます。 リモコンを使用してスピーカーの電源をオンにします(22ページを参照)。 スピーカーとオプションのベースモジュールの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。
リモコンが正しく機能しないことがある、またはまったく機能しない	電池を交換します(43ページを参照)。 リモコンがスピーカーから6m以内にあることを確認します。 リモコンとスピーカーの間に障害物がないことを確認します。 リモコンの音量ボタンを押して、スピーカーの正しいソース機器インジケータが点滅するかどうか確認します。

症状

対処方法

スピーカーの音が途切れる、聞こえない

TV インジケーターまたは **Bluetooth** インジケーターが点滅している場合、スピーカーはミュートされています。ミュートボタン  を押して、スピーカーをミュート解除します。

お使いのモバイル機器がミュートされていないことを確認します。スピーカーの音量 (24 ページを参照) またはモバイル機器の音量を上げます。

別のソースに切り替えてみます (25 ページを参照)。

別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。

モバイル機器を再起動します。

対応している **Bluetooth** モバイル機器を使用していることを確認します。

スピーカーの HDMI ケーブルがテレビの **HDMI ARC (Audio Return Channel)** と表示されている端子に接続されていることを確認します。標準 HDMI 端子には接続しないでください。テレビに HDMI ARC 端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してスピーカーに接続します (16 ページを参照)。

スピーカーがテレビの HDMI ARC 端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューで **Consumer Electronics Control (CEC)** 機能が有効になっていることを確認します。CEC 機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビの電源をオフにし、スピーカーの HDMI ケーブルをテレビの HDMI ARC 端子から取り外して、再度接続します。テレビの電源をオンにします。

光デジタルケーブルをテレビの音声出力 (**Output** または **OUT**) 端子に接続します。音声入力 (**Input** または **IN**) 端子には接続しないでください。

スピーカーとオプションのベースモジュールの電源コードを抜き、30 秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。

ベースモジュールから音が聞こえない


ベースモジュールが電源に接続されているか確認してください。

ベースモジュールがスピーカー背面の **BASS** 端子に接続されていることを確認します。

ベースモジュールがスピーカーに対応していることを確認します (37 ページを参照)。

低音レベルを調整します (27 ページを参照)。

別のソースに切り替えてみます (25 ページを参照)。

症状	対処方法
テレビから音が出る	<p>スピーカーのHDMIケーブルがテレビのARC (Audio Return Channel)と表示されている端子に接続されていることを確認します。テレビにHDMI ARC端子がない場合は、光デジタルケーブルを使用してスピーカーに接続します(17ページを参照)。</p> <p>テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>スピーカーがテレビのHDMI ARC端子に接続されている場合は、テレビのシステムメニューでConsumer Electronics Control (CEC)機能が有効になっていることを確認します。CEC機能はメーカーによって別の名称で呼ばれていることがあります。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>スピーカーのHDMIケーブルをテレビのHDMI ARC端子から取り外して、再度接続します。</p> <p>テレビの音量を最小に設定します。</p> <p>HDMIケーブル(18ページを参照)と光デジタルケーブル(17ページを参照)を両方使用してスピーカーに接続します。</p>
音質が良くない、音が歪む	<p>別のソース機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>別の機器からオーディオが再生されている場合は、その機器の音量を下げます。</p> <p>テレビの内蔵スピーカーをオフにします。テレビの取扱説明書をご覧ください。</p> <p>スピーカーが壁に取り付けられている場合は、リモコンを使用して音声を調節します(15ページを参照)。</p>
スピーカーとソース機器の電源を同時にオン/オフできない	<p>リモコンで、同期していないソース機器に対応するボタンを押します。</p> <p>電源ボタンを押して、ソース機器の電源をオン/オフします。</p>
スピーカーをBluetooth機器に接続できない	<p>モバイル機器のBluetooth機能をオフにしてから、オンにします。Bluetoothリストからスピーカーを削除します。もう一度接続してみます(31ページを参照)。</p> <p>別のモバイル機器と接続して試してみてください(33ページを参照)。</p> <p>対応しているBluetoothモバイル機器を使用していることを確認します。</p> <p>Bluetoothヘッドホンをスピーカーに接続することはできません。</p> <p>モバイル機器のBluetoothリストからスピーカーを削除します。もう一度接続してみます(31ページを参照)。</p> <p>スピーカーのデバイスリストを消去します(33ページを参照)。もう一度接続してみます(31ページを参照)。</p>

症状	対処方法
<p>スピーカーと Bose Home Speaker や Bose Soundbar をペアリングできない</p>	<p>スピーカーのリモコンの <i>Bluetooth</i> ボタン※を押します。Bose アプリを使用して、スピーカーを対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.bose.com/Groups</p>
<p>以前にペアリングされていた Bose Home Speaker や Bose Soundbar と再接続できない</p>	<p>Bose アプリを使用して接続します。このオプションは設定メニューから設定できます。</p>



852004-0010